

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風 東ユニット		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6丁目128		
自己評価作成日	令和6年6月12日	評価結果市町村受理日	令和6年8月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

そよ風での毎日の暮らしの中で、楽しく過ごしていただけるように環境づくりに心がけています。また、季節を感じられるような行事を毎月行ったり、近所を散歩したり、趣味の継続などを大切にしており、コロナにはまだ注意しながら一緒に買い物に出かけたりもできるようになりました。地域交流も積極的に参加するように努めております。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhl.w.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&ki_gyosyoId=2192100234-00&SerVi.ceId=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和6年7月23日		

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

職員は、利用者の今までの生活のペースを優先しながら活き活きと笑顔のある暮らしの支援に取り組んでいる。食事や洗濯、掃除などの家事仕事に役目があり張り合いや達成感のある日々を過ごせるようにも支援している。また、利用者の目線に合わせて急がさずゆっくり話を聞いて利用者の思いに寄り添えるケアを心がけている。管理者は、常に職員の行動を見守り、誉めることを見つけ出して会議で報告している。職員の意見や提案も取り入れ職員がやりがいを持って働けるよう努めている。職員同士も苦手なことをフォローし合ったり、互いに注意し合える関係を築いて楽しく仕事をするにより利用者にも優しく接することができるように努めている。24時間連絡や指示がもらえる協力医と訪問看護の連携があり利用者・家族・職員が安心できる事業所である。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、活き活きと働けている (参考項目:10,11)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:18)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	【その日、その瞬間、悔いのない介護をしよう】センター独自の理念のもとに日々業務に取り組んでおります。	理念を基に目標を立て会議で評価し、次月の目標を決めている。利用者の目線で笑顔が見られる支援に取り組んでいる。管理者は、職員の行動を見て、目標を達成しているか良いところを見つけて誉めるようにしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の西小学校や保育園児との交流、小中学校の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています。またボランティアの訪問再開に向けて現在調整中です。	近所に買い物や散歩に出かけた時、顔見知りの人に会えば挨拶をしている。大道芸のボランティアの連絡をもらい、都合を合わせ依頼を考えている。他施設と提携して夏祭りを予定している。小中学校の職場体験の受け入れのため学校へ出向いている。	
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括の職員、民生委員、ご家族の方に利用者の様子、実施したイベント内容、事故報告共有などをご報告しています。そよ風通信もお送りさせて頂いています。	2か月毎に運営推進会議を行っているが、地域の人や市町村職員の参加が少ない。行事や事故報告など事業所の現況を伝えている。欠席者には議事録を送り、意見があれば返信をもらっている。	利用者家族、職員だけの会議にならないよう、市の職員と地域の代表者の参加を得られるようにして、参加者からの意見をサービス向上に活かす取り組みを期待する。
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取組みなど相談協力を築くように努めております。	管理者が変わり日が浅いこともあり、介護請求の返戻がないか気にかけてもらっている。市の研修で他事業所の話や聞く機会があるなどのアドバイスがある。運営指導後も、結果報告書などについて電話やメールで相談している。	
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化・虐待防止委員会の設定・研修を行っております。玄関の施錠は利用者の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させて頂いております。合わせて単独外出の危険回避として、毎時チェック表を活用して、防止に取り組んでおります。	全体会議の中で身体拘束適正化委員会を開催している。全員が研修を受け、外部研修受講後は、報告書を提出して職員間で共有している。利用者を怒らせてしまうような声かけや「ダメ」「ちょっと待って」などの言葉使いに管理者が気付いたときは職員を呼び注意している。職員同士も注意し合って拘束のないケアに取り組んでいる。	
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております。毎月の全体会議でも報告・情報共有しております。職員アンケート等で聞き取りも実施しております。	会議や委員会、研修会などで虐待行為となる事例などを話し合い、共通認識で虐待防止に取り組んでいる。虐待の芽チェックリストを活用し、職員アンケートも実施して、日々のケアを振り返り職員がストレスや不満を抱えてないかなど確認して虐待防止に努めている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成され、いつでも職員全員が閲覧できるように整備されております。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解は頂いております。ご家族様に質問を尋ね、納得をして頂いております。		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております。	運営推進会議や面会時、電話などで要望を聞いている。「そよ風通信のおばあちゃんの写真が少ない」という意見があり、個別のアルバムを作って見てもらい、退居時に渡している。「外出を増やしてほしい」意見には花見を計画し、家族にも協力を依頼している。	
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をして頂いております。	管理者は、職員と話しやすい関係を築き、提案や要望を聞いている。ケアに関すること、修繕や備品の購入など速やかに対応している。管理者判断で不可能な時は上司に相談して解決している。提案から入浴介助時の備品の購入により入浴介助が楽になった。	
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇などを取れるよう考え休息できる様、配慮を行っております。	勤務時間などの希望や個々の家庭の事情に合わせた勤務表を作成し、夜勤が連続しないように配慮している。連休や休暇の希望なども公平に取れるようにしている。職員同士のトラブルやストレスをなくし、苦手なことは助け合えるような関係を作り働きやすい環境づくりに努めている。	
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様、促進を行っております。	研修計画を作成し全職員が参加できるようにしている。入社時は、本社のズーム研修を受講している。受講希望には、勤務調整をして参加できるようにしている。資格取得に向けての外部研修は、出勤扱いで費用の補助もある。受講後は、研修報告書を提出し、職員間で共有している。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業部内で実施のGH協議会に参加(リモート)することで、意見交換や情報共有などを行っております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付けなど)		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めております。	日々の生活の中で利用者が話す会話から思いを把握している。個別に話す時間を設けて思いを聞くこともある。何度も同じ言葉を繰り返す人には、言葉の裏に何か別の思いがないかなど利用者の気持ちを理解する力をつけるように努めている。	
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております。	毎月ユニット会議を行い利用者全員の状況を話し合っている。3ヶ月毎の担当者会議やモニタリングを基に6ヶ月毎に介護計画を見直している。医師の訪問時に意見を聞いて取り入れることもある。状態に変化があれば、随時見直しを行っている。	
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノートなどを活用し、共有を確認後押印するなどの実施をしております。	個別の記録には、利用者の日々の様子や計画に沿ったケアの実践などを記入している。利用者の発した言葉や職員の気づきなども記録している。連絡ノートも活用して情報の共有に努めている。	
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいる場合は対応しております。	眼科などの専門医の受診の同行は家族であるが、家族の同行が困難な時は、管理者が対応している。図書館や墓参りなど時々の個別のニーズに対して利用者に希望があれば個別の外出支援も可能である。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後、保育園児、小学校の体験学習、中学生の職場体験を積極的に実施して参ります。		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを実施しております。	利用者は、24時間連絡が取れ往診可能な協力医に変更して訪問診療を受けている。専門医の受診は、家族が付き添い情報は、協力医にも報告している。夜間や急変時は、家族と協力医に連絡し指示のもと訪問看護で対応している。	
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています。	入院時は、利用者の状況を協力医から情報提供をしてもらい、病院担当者と電話で連絡を取り合っている。利用者の状態を家族に聞いたり、面会に行ったりして確認している。退院時は、協力医にも相談しながら利用者・家族が安心できるよう支援している。	
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意見などをお聞きし、延命処置についてもお話をさせていただいております。	入居時に事業所の方針を説明して、本人・家族の希望を聞いている。状態の変化に応じて医師と相談しながら家族に説明をして再度意思の確認をしている。看取りが近くなると、医師・訪問看護師・職員・家族と情報を共有しながら終末期の支援に取り組んでいる。家族が居室に泊まり、最期を一緒に過ごす支援もしている。	
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間で研修、訓練を実施しておりますが、実践力が伴っていない職員もいるのが現状です。しかし職員同士協力できる体制ではありません。		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお願いに上がり、承諾頂いております。	夜間想定を含め年2回避難訓練を実施している。食料品・飲料水・日用品などの備蓄を確保し、職員も保管場所を知っている。区長に協力依頼をしたこともあるが、地域住民の協力を得られるまでには至ってない。	夜間の災害は、夜勤者一人で利用者の安全を確保するには限界があり、近隣の方の協力は心強い。いざという時に近隣の方が駆けつけてくれるような協力体制づくりの取り組みを期待する。

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っておりますが、不適切な言動等があった場合は、その都度、注意し、施設全体で共有しています。今後も人格の尊重、誇りを損ねないように心掛けていきます。	トイレ誘導時は、優しく声かけをして本人の意思を確認して行うようにしている。居室には、ノックをして声かけをし、確認をしてから入室している。不適切な対応があればその都度場所を変えて注意し、会議や勉強会で全体の問題として話し合っており職員間で共有している。	
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表せるようなお声掛け、また急かさずゆっくり傾聴するように心掛けています。		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております。		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております。	利用者の希望を聞き管理栄養士の献立を参考にメニューを決めている。入居時、エプロンを持参してもらい準備や洗い物など一緒に行っている。利用者の状態に合わせた食事形態、誕生日や行事食、薬膳料理など楽しめるよう工夫している。	
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養管理士の献立により職員が調理し、その方に合わせた食事形態の提供を行うとともに、食事・水分摂取量の記録は毎日行っております。		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の使用も可能とさせていただいております。	口腔ケアは、利用者の力量に応じて行い、磨き残しがないかの確認をしている。義歯は汚れを落として洗浄液にて保管している。ほぼ全員が訪問歯科診療を受け、口腔内の状態の確認や治療をしてもらっている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期のお声掛け、誘導を行うことでトイレの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方やオムツ使用の方もおられます。		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用したり、柚子や菖蒲を入れ季節を感じられるようにするなど、楽しく入浴できるように心掛けております。		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないなど生活リズムをくずさないよう、日中の活動に気を付けております。		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようになっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております。	訪問薬剤師に薬をセットしてもらい、説明を受けている。薬剤情報でも副作用などの確認をしている。服薬介助マニュアルの整備、誤薬や飲み忘れがないよう服薬時は、ダブルチェックで行っている。薬の変更後は、利用者の状態を確認して医師に報告している。	
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたことで、役割・気分転換などを行えていると思っております。	食事の準備や片付け、洗濯物干しや洗濯物たたみ、チラシでゴミ箱づくり、モップかけなど利用者の役目を見つけて張り合いのある暮らしの支援をしている。ぬり絵や作品作りなどを一緒に楽しみながら行って「そよ風文化祭」に出展している。	
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	近隣の神社へ散歩、ベランダへ出での外気浴などを心掛けております。またお花見なども行って喜びられております。コロナにはまだ注意はしていますが、ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力は頂いております。	敷地内や近くの神社に散歩に行ったり、買い物にも出かけたりしている。初詣や桜や紫陽花などの花見に出かけ、季節を楽しめるよう支援している。家族の協力を得て外食や外泊をする利用者もいる。ベランダに出て洗濯物を干したり、外気浴をしたりして外に出る機会を作っている。	

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております。		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意見はお伺いしております。		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が分かるような壁づくりを行ったり、花を置いたりと過ごし易い環境づくりに心掛けております。	職員が季節の花を持ち寄り、リビングや居室に飾っている。廊下には季節に応じた作品を利用者と一緒で作って飾っている。広いリビングのスペースに椅子を置いてテレビを見たり、雑誌を読んだりして好きなように過ごせるよう工夫している。食事前の消毒、換気やモップかけなどの掃除を行って快適に過ごせるようにしている。	
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております。また居室で過ごしたい方は居室で過ごして頂いております。		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただけるよう、支援させて頂いております。		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意見やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2192100234		
法人名	株式会社SOYOKAZE		
事業所名	大垣ケアセンターそよ風 西ユニット		
所在地	岐阜県大垣市久瀬川町6丁目128		
自己評価作成日	令和6年6月12日	評価結果市町村受理日	令和6年8月28日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	https://www.kai.gokensaku.nhlw.go.jp/21/index.php?act=on_kouhyou_detail_022_kani=true&kyosyoId=2192100234-00&Servi.ceId=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 旅人とたいようの会		
所在地	岐阜県大垣市橋町1丁目3番地		
訪問調査日	令和6年7月23日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～42で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
43	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:15)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	50	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:8,9)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
44	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:14,27)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	51	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
45	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:27)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	52	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:3)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
46	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:25,26)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	53	職員は、生き活きと働けている (参考項目:10,11)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
47	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:36)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	54	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
48	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:20)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	55	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない
49	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:18)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	【その日、その瞬間、悔いのない介護をしよう】センター独自の理念のもとに日々業務に取り組んでおります。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近所の西小学校や保育園児との交流、小中学校の体験学習や職場体験を実施していきたいと思っています。またボランティアの訪問再開に向けて現在調整中です。		
3	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括の職員、民生委員、ご家族の方に利用者の様子、実施したイベント内容、事故報告共有などをご報告しています。そよ風通信もお送りさせて頂いています。		
4	(4)	○市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事故報告・変更届など速やかに提出しております。サービス運営の為の取組みなど相談協力を築くように努めております。		
5	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化・虐待防止委員会の設定・研修を行っております。玄関の施錠は利用者の安全、外部からの不審者侵入回避の為もあり施錠させて頂いております。合わせて単独外出の危険回避として、毎時チェック表を活用して、防止に取り組んでおります。		
6	(6)	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的な研修の開催と介護現場において困難事例があれば職員同士が協力し虐待防止に努めております。毎月の全体会議でも報告・情報共有しております。職員アンケート等で聞き取りも実施しております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	マニュアルが作成され、いつでも職員全員が閲覧できるように整備されております。		
8		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明と理解は頂いております。ご家族様に質問を尋ね、納得を頂いております。		
9	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営委員会、意見箱等において家族様からの要望意見は真摯に受け止め、できる範囲で反映させて頂いております。		
10	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月、全体会議を開催し意見や提案をさせて頂いております。		
11	(9)	○就業環境の整備 代表者は、管理者及び職員個々の努力や実績、勤務状況を把握するとともに、職員が向上心を持って働けるよう、ワーク・ライフ・バランスに配慮した職場環境や就業条件の整備に努めている	やりがい、向上心については本社研修・事業本部内研修・外部研修参加の促進を行っております。公平に有給休暇などを取れるよう考え休息できる様、配慮を行っております。		
12	(10)	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修・実践者研修など各講習・研修に参加できる様、促進を行っております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会づくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	事業部内で実施のGH協議会に参加(リモート)することで、意見交換や情報共有などを行っております。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
14		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常のできることは行っていただいております(洗濯干し・たたみ、食器洗い・食事の盛り付けなど)		
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
15	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	毎日の生活の中、ご本人との思いと共に性格も理解し本人様本位のサービス提供に努めております。		
16	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議の活用で意見交換し介護計画に反映させております。		
17	(13)	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケアカルテ・連絡ノートなどを活用し、共有を確認後押印するなどの実施をしております。		
18	(14)	○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	吸痰などの必要時や通常時は訪問看護に依頼しているが、急を要するときは資格者がいる場合は対応しております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	今後、保育園児、小学校の体験学習、中学生の職場体験を積極的に実施して参ります。		
20	(15)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅医療の導入により、より速い医療が受けられる体制作りを実施しております。		
21	(16)	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	在宅医療と総合病院のドクター間の連絡情報の共有ができています。		
22	(17)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居契約時に看取りの理念の流れやご家族様のご意見などをお聞きし、延命処置についてもお話させていただいております。		
23		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間で研修、訓練を実施しておりますが、実践力が伴っていない職員もいるのが現状です。しかし職員同士協力できる体制ではありません。		
24	(18)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の消防訓練は行っております。地域との協力体制については総会時に区長様にお問い合わせいただき、承諾頂いております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
25	(19)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員全員が心掛けて対応を行っておりますが、不適切な言動等があった場合は、その都度、注意し、施設全体で共有しています。今後も人格の尊重、誇りを損ねないよう心掛けていきます。		
26		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いが表せるようなお声掛け、また急かさずゆっくり傾聴するように心掛けています。		
27		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	希望に沿った支援を行っております。		
28	(20)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けや洗い物など危険のないよう付き添いながら一緒に行っております。		
29		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養管理士の献立により職員が調理し、その方に合わせた食事形態の提供を行うとともに、食事・水分摂取量の記録は毎日行っております。		
30	(21)	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	朝夕の口腔ケアの施行、希望者の方には訪問歯科の使用も可能とさせていただいております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	定期のお声掛け、誘導を行うことでトイレの排泄を支援しております。夜間はポータブルトイレを使用している方やオムツ使用の方もおられます。		
32		○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	無理強いすることなく清潔の保持を行いつつ入浴していただいております。入浴剤を使用したり、柚子や菖蒲を入れ季節を感じられるようにするなど、楽しく入浴できるように心掛けております。		
33		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	就寝時間はご本人様に合わせております。昼夜逆転にならないなど生活リズムをくずさないよう、日中の活動に気を付けております。		
34	(22)	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋は職員が誰もが確認できるようになっております。服薬の支援・症状の変化の確認に努めております。		
35	(23)	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常生活の中で出来ることを行っていたくことで、役割・気分転換などを行えていると思っております。		
36	(24)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	近隣の神社へ散歩、ベランダへ出での外気浴などを心掛けております。またお花見なども行っており喜ばれております。コロナにはまだ注意はしていますが、ご家族様には外出・外泊は大丈夫とお伝えしご協力は頂いております。		

大垣ケアセンターそよ風

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現金の所持はご本人様が安心できる程度に留めて頂くようお願いを行っております。		
38		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	制限は行っておりません。ご家族様のご意見はお伺いしております。		
39	(25)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節が分かるような壁づくりを行ったり、花を置いたりと過ごし易い環境づくりに心掛けております。		
40		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにてそれぞれが過ごし易く、思い思いに過ごしていただける様心掛けております。また居室で過ごしたい方は居室で過ごして頂いております。		
41		○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様の使い慣れた寝具類など配置することで安心して過ごしていただけるよう、支援させて頂いております。		
42		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険な物の持ち込み以外はご本人様の意見やご家族様の思いに配慮し、安全で自立して生活が過ごせるよう支援させて頂いております。		